

抗インフルエンザウイルス薬の使用状況
(企業提出資料)

中外製薬株式会社提出資料 【2 ページ】

グラクソ・スミスクライン株式会社提出資料 【8 ページ】

塩野義製薬株式会社提出資料 【9 ページ】

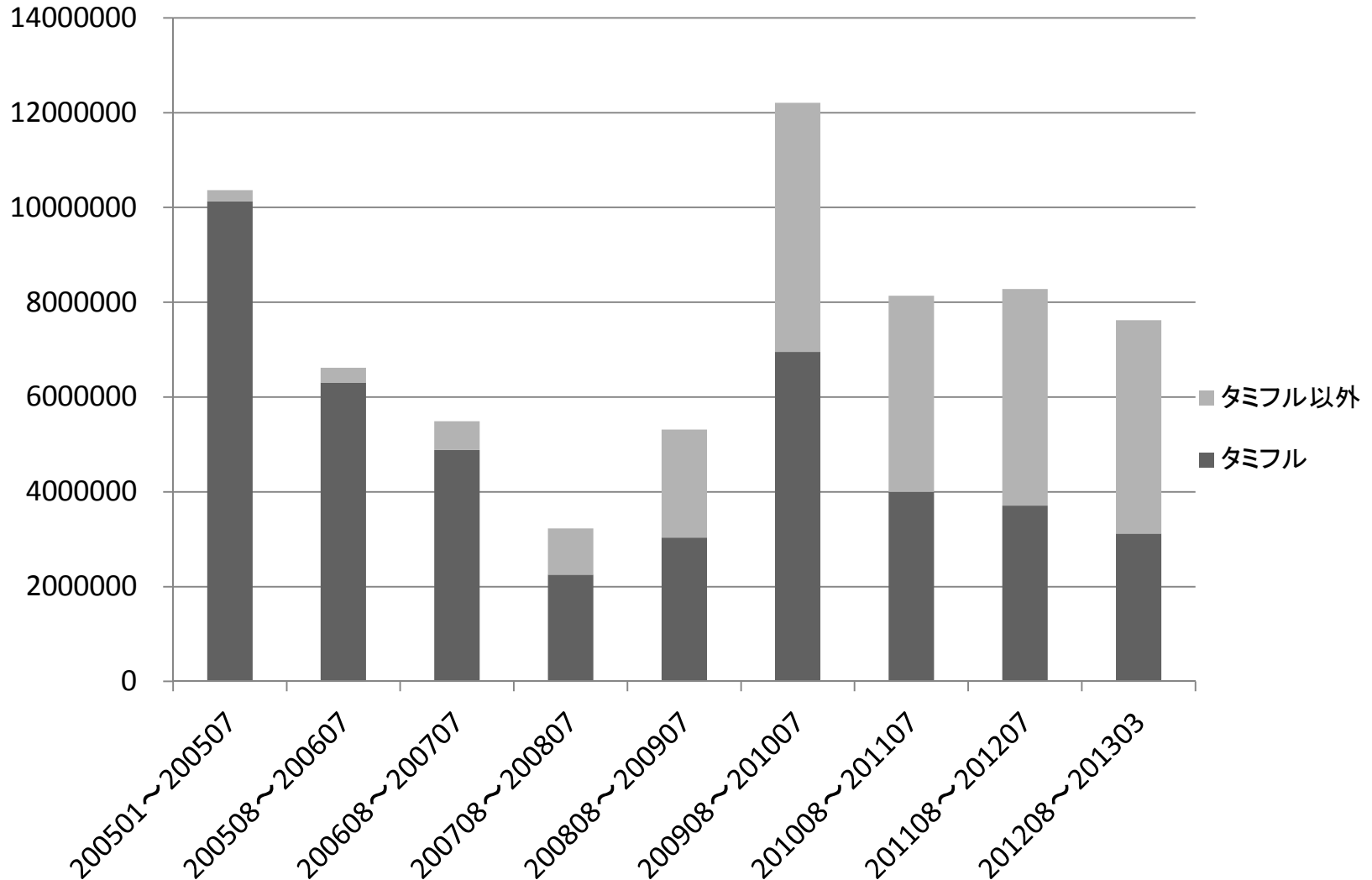
第一三共株式会社提出資料 【10 ページ】

抗インフルエンザ薬の処方患者の推計

(企業提出資料による)

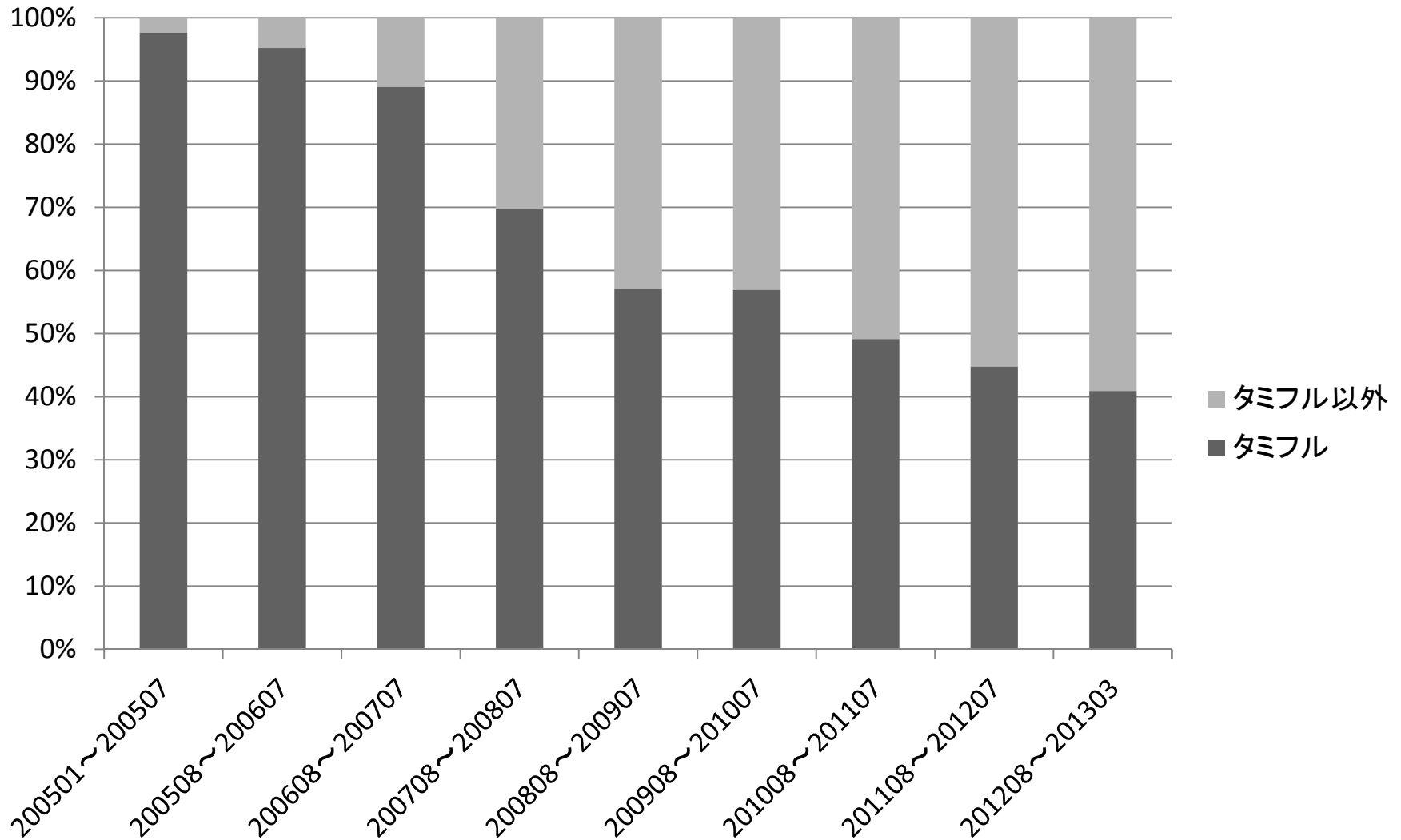
	0～9歳の推定処方患者数	10～19歳の推定処方患者数	全推定処方患者数	出典 (期間)
オセルタミビルリン酸塩	1,089,600	140,600	3,040,800	株式会社日本医療データセンターデータベース (2012/08-2013/03)
ザナミビル水和物	16万人	46万人	99万人	JMIRI(株)医療情報総合研究所), JMDC((株)日本医療データセンター)のデータより、GSKが各種条件の下算出 (2012年10月～2013年4月)
ペラミビル水和物	約1万人	約2万人	約17万人	JammNet[ジャムネット(株)]のデータより塩野義製薬(株)が算出 (2012年10月～2013年3月)
ラニナミビルオクタン酸エステル水和物	約21万人	約74万人	約272万人	JMDC((株)日本医療データセンター)のデータより (2012年10月～2013年3月)

抗インフルエンザ薬推定処方患者数

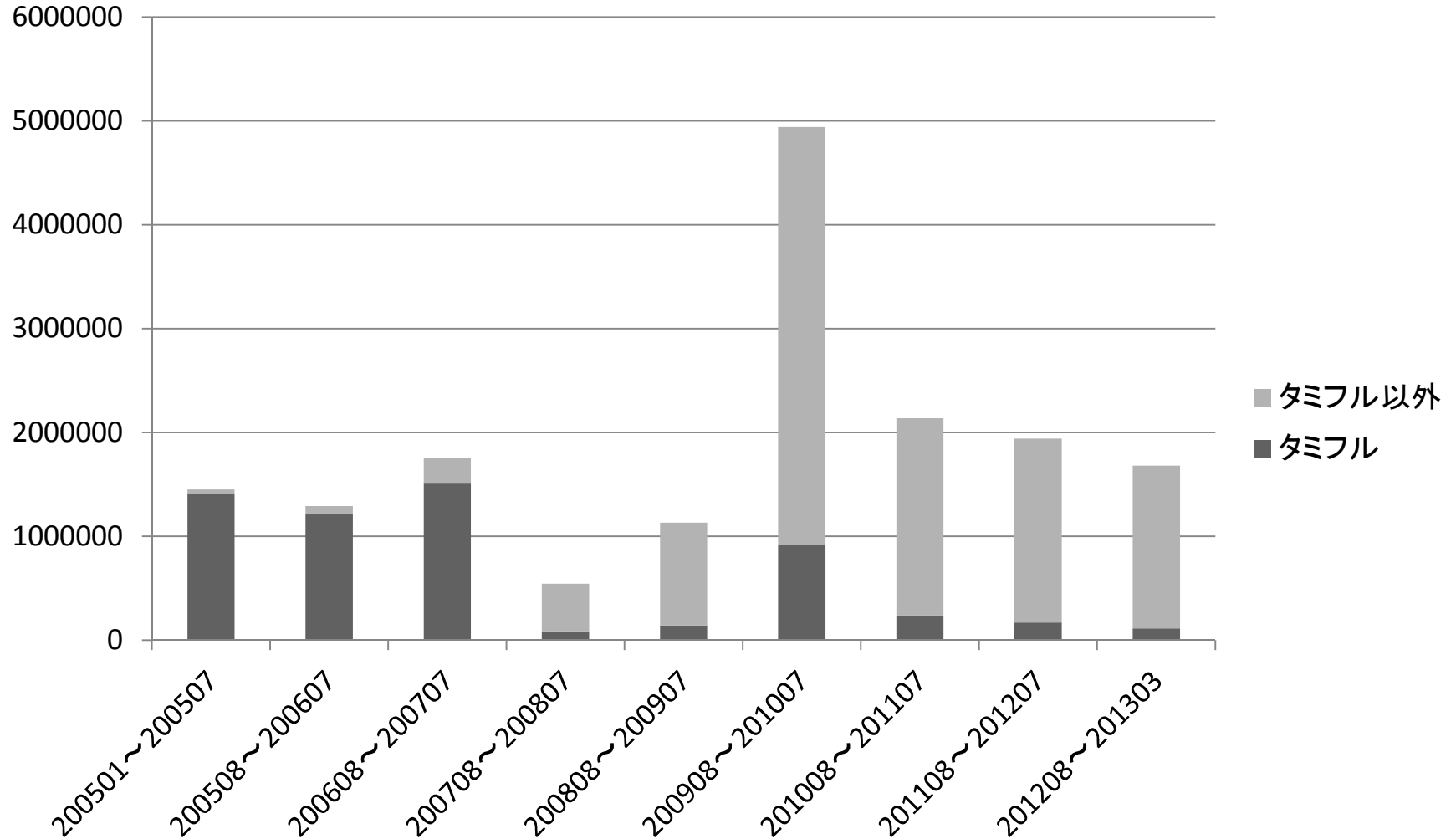


株式会社日本医療データセンターデータベースより算出

抗インフルエンザ薬処方比率

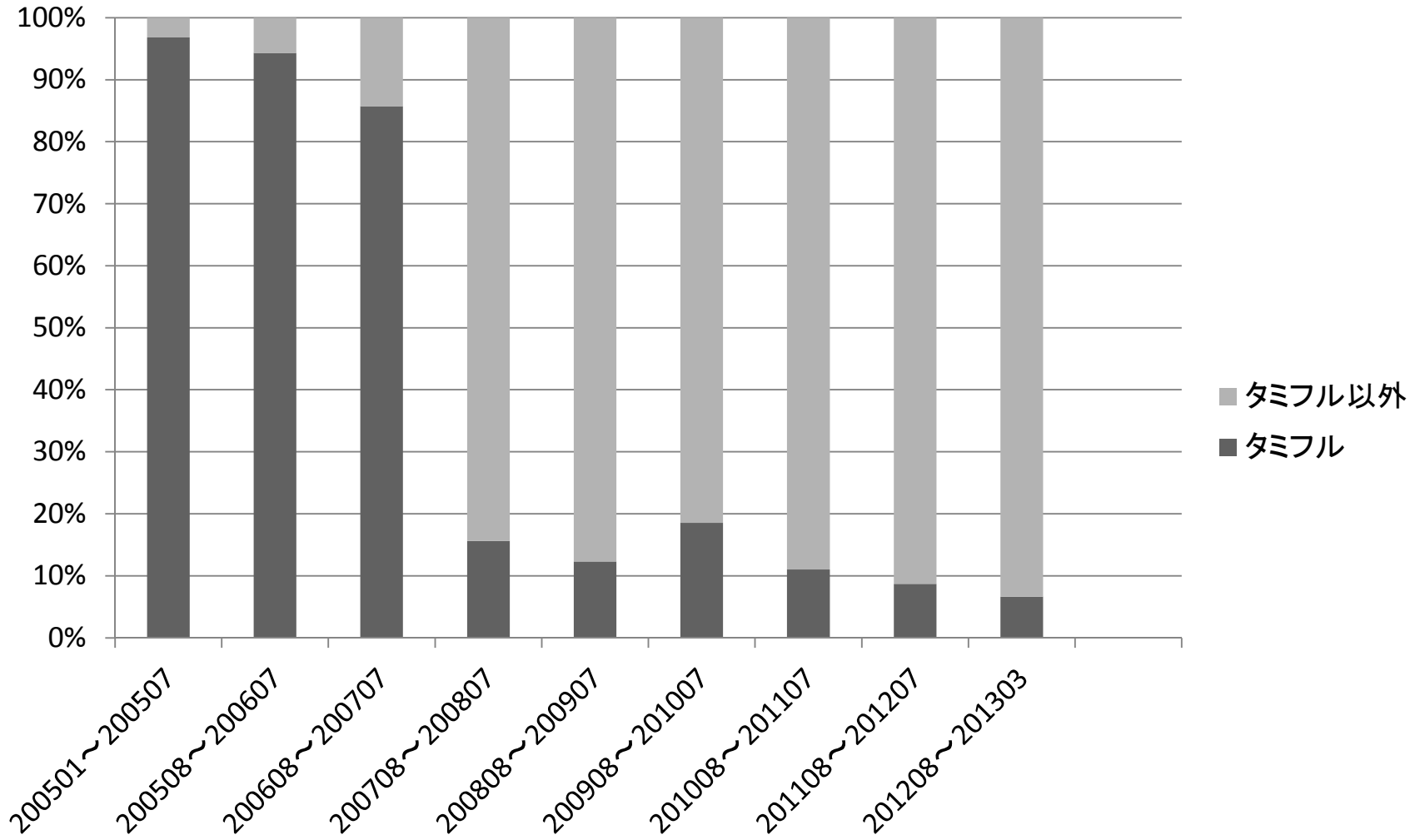


抗インフルエンザ薬10歳代推定処方患者数



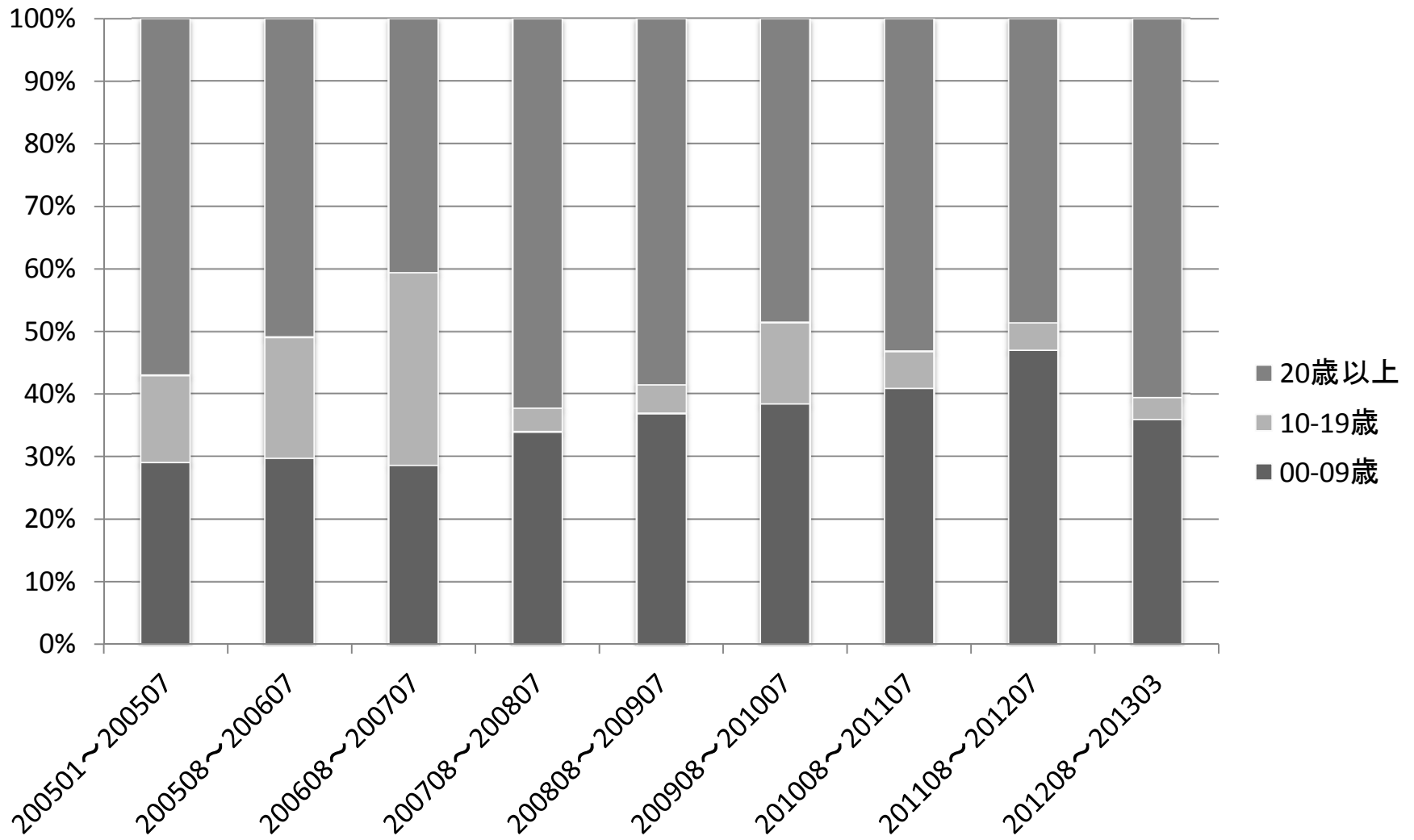
株式会社日本医療データセンターデータベースより算出

抗インフルエンザ薬10歳代薬剤処方比率



株式会社日本医療データセンターデータベースより算出

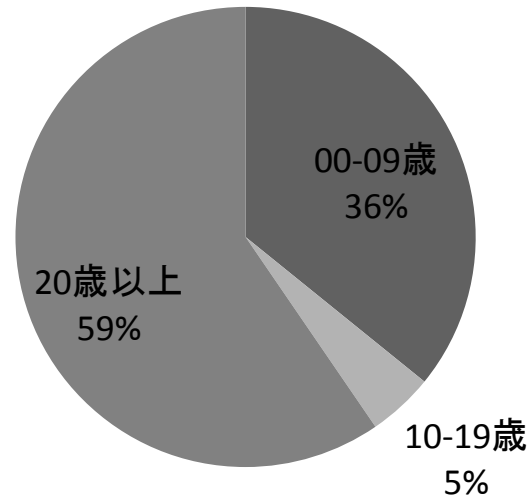
年代別タミフル処方比率



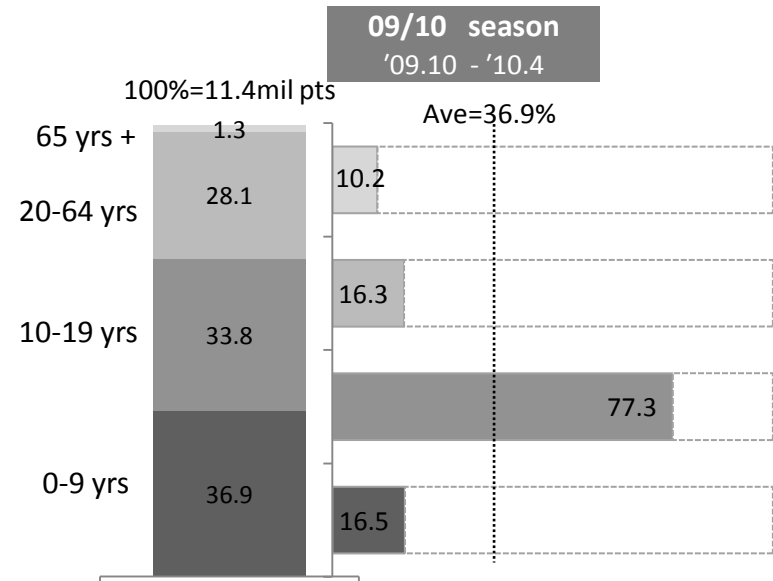
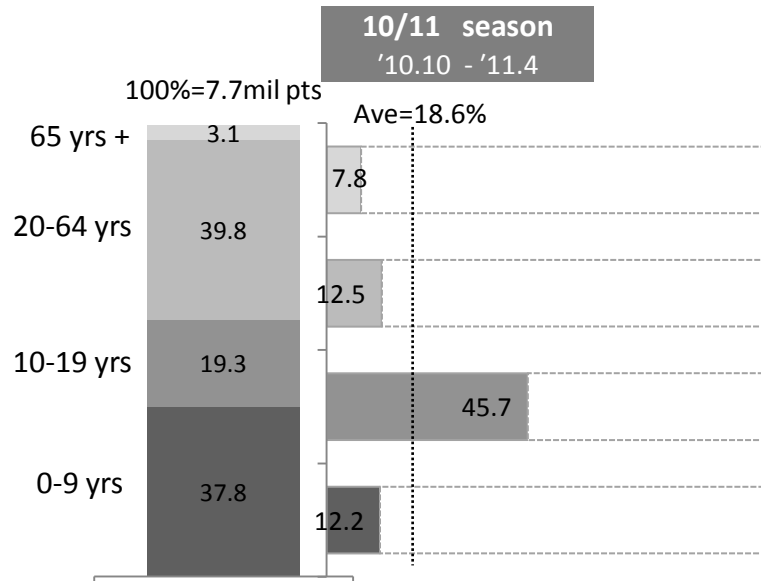
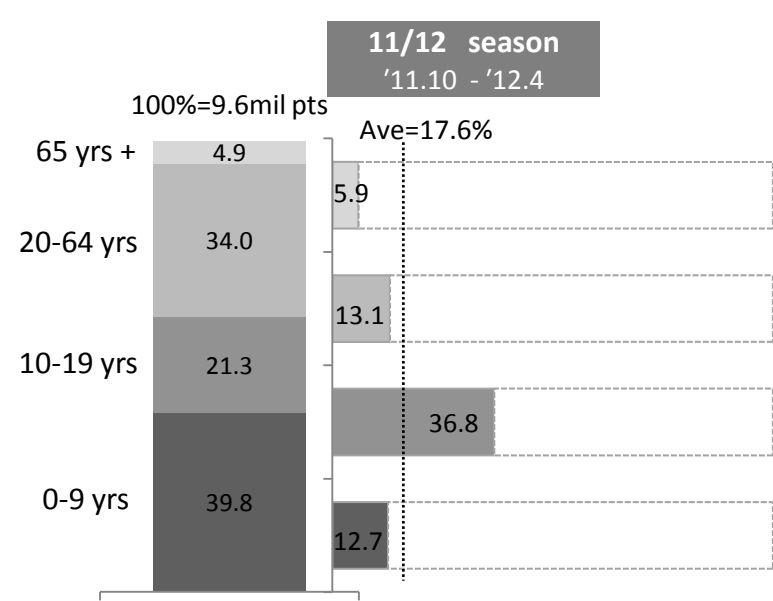
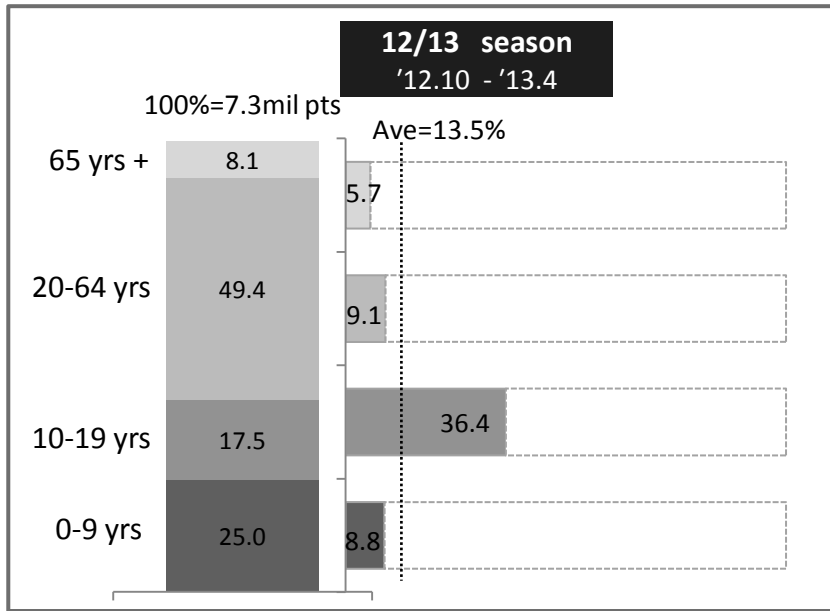
抗インフルエンザ薬(オセルタミビルリン酸塩)の 処方患者の推計

0～9歳の 推定処方患者数	10～19歳の 推定処方患者数	全推定処方患者数	出典 (期間)
1,089,600	140,600	3,040,800	株式会社日本医療データ センターデータベース (2012/08-2013/03)

年代別タミフル処方比率



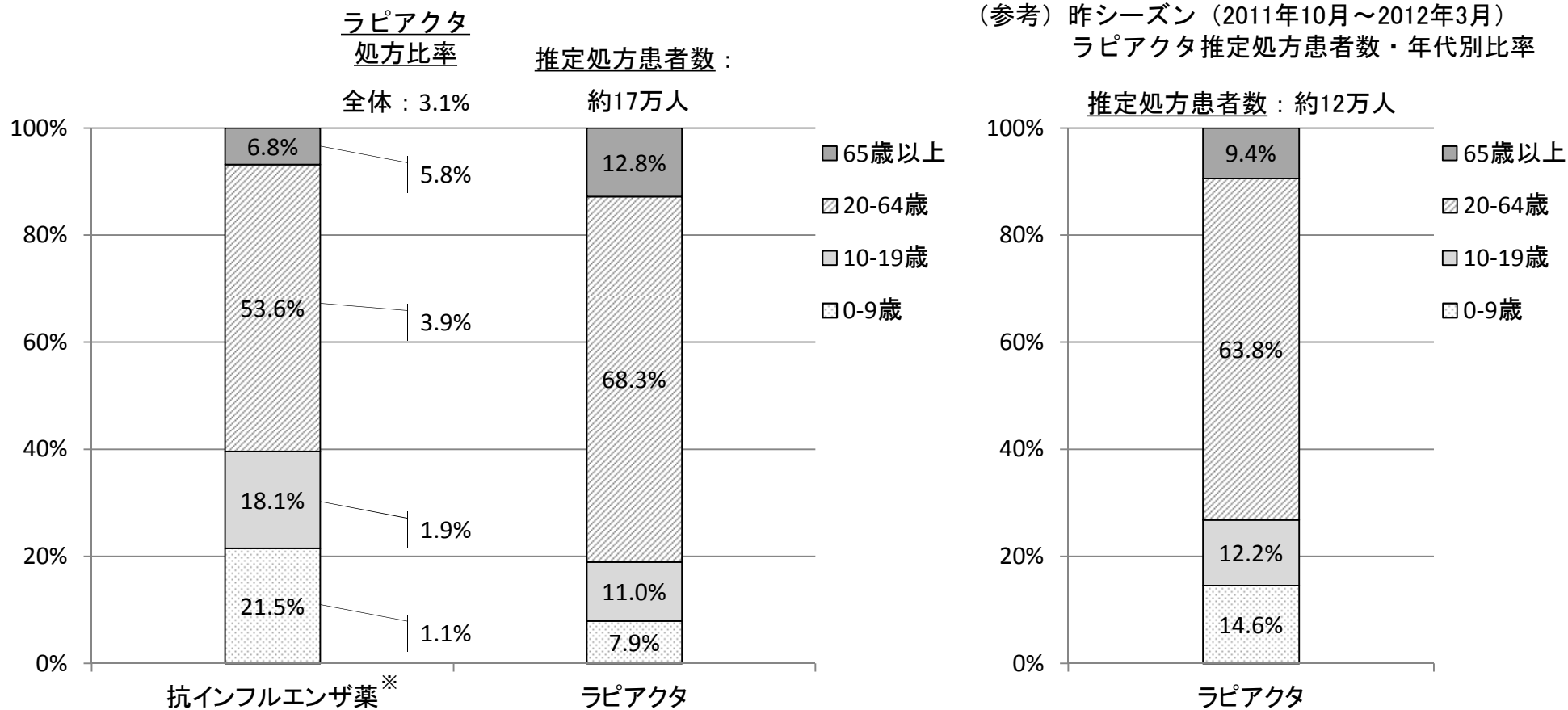
患者年齢区分別抗インフルエンザ薬の処方状況とリレンザのシェア(推定) 8



※「抗インフルエンザ薬」には、リレンザの他、タミフル(ドライシロップ、カプセル)及び2010/11シーズン以降はイナビルを含む
出典:JMIRI(株)医療情報総合研究所)、JMDC(株)日本医療データセンター)等のデータより、GSKが各種条件の下算出

患者年齢区分別抗インフルエンザウイルス薬処方状況及びラピアクタシェア(推定)

＜2012/13シーズン：2012年10月～2013年3月＞

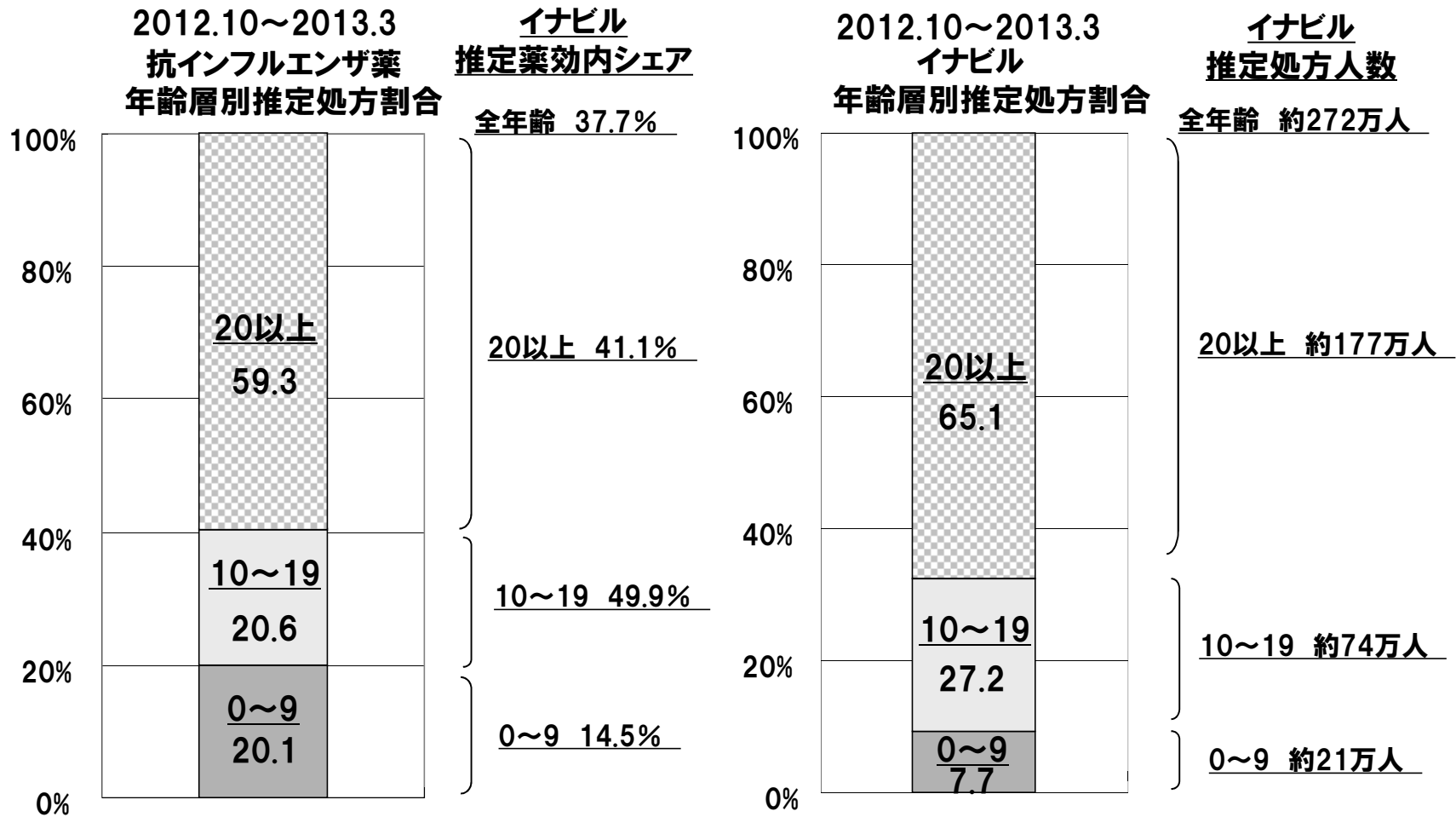


※ 抗インフルエンザ薬：タミフル，リレンザ，ラピアクタ，イナビル

出典：JammNet（ジャムネット株式会社）のデータより，塩野義製薬株式会社が算出

抗インフルエンザウイルス薬の使用状況とイナビルの推定シェア

【2012年10月～2013年3月の年齢層別】



出典：JMDC((株)日本医療データセンター)のデータより、第一三共が推定